



ディスパロン LF-1900シリーズ

非水系塗料用レベリング・消泡剤

ディスパロン LF-1900シリーズはアクリル系重合物を主成分としたレベリング・消泡剤で、溶剤として酢酸ブチルを使用しており脱芳香族、P R T R法及びH A P s規制に対応しています。塗料に添加されたLF-1900シリーズは焼き付け又は常温乾燥過程においてその塗液中で均一微分散状態となり被塗物の濡れを促進し優れた表面調整効果を示します。この作用によりレベリング、ハジキ、ピンホール等を改良し鮮映性、平滑性に優れた乾燥塗膜を得る事が出来ます。又表面張力を大きく低下させる事が無いため従来のシリコン系添加剤に見られるトラブルが極めて少ない特徴があります。

■性 状 (一般性状値であり、納入規格ではありません)

	LF-1980	LF-1982	LF-1983	LF-1984	LF-1985
外 観	無色～淡黄色透明液体				
有効成分	50%				
溶 剤	酢酸ブチル				
密 度	0.957	0.951	0.927	0.955	0.970
S P	8.95	8.81	8.19	8.89	9.35

※ 密度 (g/cm³) は20℃に於ける値です。

■用途及び使用方法

- 各種合成樹脂全般、一般に中・高極性側の樹脂塗料（アクリル系、ウレタン系、エポキシ系、ポリエステル系）に適正です。また粉体塗料にも適用できます。
- 一般に表面調整剤には塗料樹脂に対する選択性が有り、LF-1900シリーズも例外ではありません。およその分類として高極性側の樹脂に対してはLF-1980、LF-1984、LF-1985、中極性以下の樹脂に対してはLF-1982、LF-1983が適正と言えます。特にオイルフリーアルキドやポリエステル、自動車塗料ではこの傾向が明確に認められます。
- 添加量は0.2～1.0%が標準です。（塗料全配合に対する重量比）分散方法はディゾルバー等による後添加、サンドミル等の前添加の何れも可能ですが前添加の場合顔料表面に一部吸着する事もありますので添加量はやや多めとなります。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証するものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特許権に抵触しない事を調査して頂く様お願い致します。

© 2009 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.